

特定技能2号（自動車整備）評価試験 準備チェックリスト 2026年版

受験者の試験前自己確認・指導者の教育進捗確認のための実用ツール（印刷して手書きチェック）

試験概要（2026年版・最新確認済み）

試験名	自動車整備分野特定技能2号評価試験
実施主体	一般社団法人日本自動車整備振興会連合会（日整連） 運営: プロメトリック社（CBT方式）
試験形式	学科・実技ともCBT方式 （テストセンターのコンピュータ画面上で解答） 実車での作業試験ではありません。
学科試験	四肢択一（四択） 40問・80分
実技試験	判断試験 3課題 （各課題に複数の設問）・ 30分 写真・イラスト・映像等をもとに、点検・整備の判断力を問う形式
合格基準	学科・実技とも正答60%以上 （両方の合格が必要）
試験水準	2級自動車整備士と同程度
受験資格	満17歳以上、かつ 認証事業場（認証工場）での自動車整備実務経験3年以上 （日整連様式の実務経験証明書が必要）
実施時期	プロメトリックCBT会場にてほぼ通年（随時）実施 合格発表は月2回。不合格の場合は 30日待機後に再受験可
合格証明書	有効期限は 受験日から10年
実技免除制度	二種養成施設の「外国人技能養成講習」（学科60時間＋実習30時間以上）を修了し、 修了後2年以内 に受験する場合、実技試験が免除される

注意: 試験内容・実施方法は変更される場合があります。受験申込の前に、必ず**日整連およびプロメトリックのWebサイトで最新情報を確認**してください。

本チェックリストの位置づけ: CBT試験は、実務経験に裏打ちされた**現場力（判断力）**を問う判断試験です。本書のチェック項目は「試験範囲に対応する実務スキルの自己点検リスト」として使ってください。現場で実際にできることが、画面上の判断問題を解く力の土台になります。

出題科目マップ

学科5科目 × 実技4科目 × 本書チェックカテゴリの対応

学科試験（四択40問）と実技試験（判断3課題）は、いずれも以下の科目から出題されます。本書のチェックカテゴリ1～6がどの科目に対応するかを確認し、弱点科目を特定してください。

学科試験の出題5科目

No.	出題科目	対応する本書カテゴリ
①	自動車の構造・機能・取扱法に関する初等知識	カテゴリ2（エンジン）／3（シャシ）／4（電装）
②	点検・修理・調整・完成検査の方法	カテゴリ2／3／5（故障診断）／6（法定点検）
③	試験機・計量器・工具の構造・機能・取扱法	カテゴリ1（基本測定・工具）／5
④	材料・燃料油脂の性質・用法	カテゴリ2（オイル・冷却水等）／3（ブレーキ液等）
⑤	保安基準その他の自動車の整備に関する法規	カテゴリ6（法定点検・記録簿・保安基準判定）

実技試験（判断試験）の出題4科目

No.	出題科目	対応する本書カテゴリ
①	基本工作	カテゴリ1（測定・工具の選択と使用）
②	点検・分解・組立て・調整・完成検査	カテゴリ2／3／6
③	一般的な修理	カテゴリ2／3／4（電装）
④	試験機・計量器・工具の取扱い	カテゴリ1／5（スキャンツール等）

実技＝判断試験とは: 実車を使った作業ではなく、CBT画面上で「この測定結果から何を判断するか」「この症状に対して次に何をすべきか」等を問う形式です。手が動くだけでは足りず、**作業の根拠・判定基準・手順の理由**を言語化できるレベルを目指してください。

本書の使い方（3ステップ）

ステップ	やること
1. 自己点検	3～5ページのチェックリストを1項目ずつ確認し、□にチェック＋◎○△を記入する（記入日も残す）。
2. 弱点補強	△が3つ以上あるカテゴリは、6ページの対照表からBrightAcademyの該当レッスンに戻って重点復習する。
3. 手続確認	5ページの受験手続きチェックリストで、証明書類・申込・当日の持ち物を漏れなく準備する。

技術チェックリスト (1)

CBT試験は現場力を問う判断試験。以下は試験範囲の実務スキル自己点検リストです。

◎ 自信あり（一人で正確にできる） ○ 概ねできる（補助があればできる） △ 不安あり（要復習）

カテゴリ1: 基本測定・工具使用 / Pengukuran Dasar & Penggunaan Alat

記入日: ____月____日

✓	チェック項目	◎	○	△
☐	ノギス (Jangka sorong) の正確な読み取り (0.05mm単位) ができる			
☐	マイクロメーター (Mikrometer) の正確な読み取り (0.01mm単位) ができる			
☐	ダイヤルゲージの使用方法を理解し、正確に測定できる			
☐	トルクレンチ (Kunci torsi) の設定と使用が正確にできる			
☐	各種工具（ラチェット、ソケット、スパナ等）の正しい選択と使用ができる			
☐	測定値の記録と許容値との比較判定ができる			

カテゴリ2: エンジン整備 / Perawatan Mesin

記入日: ____月____日

✓	チェック項目	◎	○	△
☐	シリンダーヘッド (Kepala silinder) の取り外し手順を正しく実施できる			
☐	バルブクリアランスの測定と調整ができる			
☐	シリンダーの内径測定（摩耗量判定）ができる			
☐	ピストンリングの合口隙間を測定できる			
☐	ガスケット面の清掃と平面度確認ができる			
☐	シリンダーヘッドの組み付けと規定トルクでの締め付けができる			
☐	締め付け順序（対角締め）を正しく実施できる			
☐	エンジンオイル (Oli mesin) の点検・交換手順を正しく実施できる			
☐	冷却水 (Air pendingin) の点検・交換・エア抜きができる			
☐	点火プラグ (Busi) の点検・交換と状態判定ができる			

判断試験対策のコツ: 各項目を「できる／できない」で終わらせず、「なぜその順序か」「限度値を超えたらどう判定するか」を自分の言葉で説明できるか確かめてください。CBTの設問はその**理由と判定**を突いてきます。

技術チェックリスト (2)

シャシ・電装 ― 判断試験で問われる測定値の判定基準まで押さえる

◎ 自信あり（一人で正確にできる） ○ 概ねできる（補助があればできる） △ 不安あり（要復習）

カテゴリ3: シャシ整備 / Perawatan Sasis

記入日: ____月____日

✓	チェック項目	◎	○	△
☐	ブレーキ (Rem) パッドの残量測定と交換判定ができる			
☐	ブレーキディスクの厚さ測定と摩耗限度判定ができる			
☐	ブレーキキャリパーの分解・清掃・組立ができる			
☐	ブレーキ液 (Minyak rem) のエア抜き作業を正しく実施できる			
☐	ドラムブレーキの分解・点検・組立ができる			
☐	ホイールシリンダーの点検・O/Hができる			
☐	ハブベアリングのガタ点検とプレロード調整ができる			
☐	ステアリング (Kemudi) 装置のガタ点検ができる			
☐	サスペンション (Suspensi) (ショックアブソーバー) の点検ができる			
☐	ドライブシャフトブーツの点検と交換判定ができる			

カテゴリ4: 電装整備 / Perawatan Kelistrikan

記入日: ____月____日

✓	チェック項目	◎	○	△
☐	サーキットテスターで電圧・電流・抵抗を正確に測定できる			
☐	バッテリー (Aki / Baterai) の比重・電圧測定と状態判定ができる			
☐	スターターモーターの点検（引込試験・無負荷試験）ができる			
☐	オルタネーター（発電機）の出力点検ができる			
☐	ヘッドライト (Lampu depan) の光度・光軸調整ができる			
☐	配線図 (Diagram kelistrikan) を読み取り、回路の断線・短絡を特定できる			
☐	ヒューズ・リレーの点検と交換ができる			

技術チェックリスト (3) + 受験手続き

故障診断・法定点検、そして受験申込までの準備

◎ 自信あり（一人で正確にできる） ○ 概ねできる（補助があればできる） △ 不安あり（要復習）

カテゴリ5: 故障診断 / Diagnosis Kerusakan

記入日: ____月____日

✓ チェック項目	◎	○	△
☐ OBD-IIスキャンツールの接続と基本操作ができる			
☐ DTC（故障コード）(Kode kerusakan) の読み取りと意味の理解ができる			
☐ データモニターで各センサー値を確認できる			
☐ フリーズフレームデータの読み取りができる			
☐ 故障原因の推定と診断フローの作成ができる			
☐ 診断結果の記録と報告書の作成ができる			

カテゴリ6: 法定点検 / Inspeksi Berkala Wajib

記入日: ____月____日

✓ チェック項目	◎	○	△
☐ 12ヶ月点検の全項目を制限時間内に実施できる			
☐ 24ヶ月点検の追加項目を実施できる			
☐ 点検整備記録簿 (Buku catatan inspeksi) に正確に記入できる			
☐ 不具合箇所の報告と整備提案ができる			
☐ 排気ガス測定 (CO/HC) ができる			
☐ サイドスリップ量の測定ができる			
☐ ブレーキ制動力の測定と判定ができる			

受験手続きチェックリスト / Persiapan Pendaftaran Ujian

✓ 準備項目	完了日
☐ 実務経験証明書（日整連様式）の準備 — 認証事業場での整備実務経験3年以上を事業場に証明してもらう。様式は日整連Webサイトから入手	____月____日
☐ プロメトリックへの受験申込 — Web上でアカウント作成・会場と日時の予約・受験料の支払い	____月____日
☐ 受験票（予約確認書）の確認 — 予約完了メール・受験者ID・会場住所・集合時刻を控える	____月____日
☐ 本人確認書類 (Kartu identitas) — 在留カード等、有効期限内のものを試験当日に持参	____月____日

CBT試験のため作業服・安全靴・工具は不要です。テストセンターの受付では本人確認が厳格に行われます。在留カードの有効期限切れに注意してください。

BrightAcademy 対応レッスン対照表

弱点カテゴリから復習レッスンへ

チェックリストカテゴリ	BrightAcademy対応レッスン
カテゴリ1: 基本測定・工具使用 / Pengukuran Dasar & Alat	レッスン8 (測定機器の取り扱い)
カテゴリ2: エンジン整備 / Mesin	レッスン10-11, 14 (エンジン基礎・シリンダーヘッド分解組立)
カテゴリ3: シャシ整備 / Sasis	レッスン12-13, 15 (動力伝達・制動装置・ブレーキキャリパーO/H)
カテゴリ4: 電装整備 / Kelistrikan	レッスン17-19 (電気回路・バッテリー・CAN通信)
カテゴリ5: 故障診断 / Diagnosis Kerusakan	レッスン20-21 (OBD・スキャンツール実習)
カテゴリ6: 法定点検 / Inspeksi Berkala	レッスン6-7 (12ヶ月・24ヶ月点検)

自己評価の使い方

評価	意味	次のアクション
◎	自信あり (一人で正確にできる)	そのまま維持。他の人に説明・指導できればさらに定着する。
○	概ねできる (補助があればできる)	現場で一人で通しでやってみる。手順の「理由」を口頭で説明する練習をする。
△	不安あり (要復習)	該当レッスンに戻って復習し、現場で指導者と一緒に再実践する。

ルール: △が3つ以上あるカテゴリは、上の対照表からBrightAcademyの該当レッスンに戻って重点復習してください。復習後に日付を変えて再チェックし、△が2つ以下になるまで繰り返します。

指導者記入欄 (教育進捗の確認)

確認日	指導者名	コメント (弱点カテゴリ・次回までの課題など)

メモ

全カテゴリが◎○で埋まれば合格圏内です。実務経験3年の現場力は判断問題にも必ず活きます。※試験内容は変更される場合があります。最新情報は日整連・プロメトリックのWebサイトで確認。